



平成14年度指定 高指第101号

和田 順吉

生年／昭和15年 指定技術名／銅器・轆轤



ちゅうどうみずさし

鑄銅水指

轆轤技術の数少ない継承者で、高級茶道具や花器、金・銀等の貴金属製品までの一品ものを多く手掛ける技術者である。自らが意匠、木型製作まで行ったこの水指は、長年の経験と熟練した高度な技術により、機械加工では到底及ばない内側深部まで、鑄物生地の厚みを感じ取りながら、研ぎ澄まされた感覚で極限まで薄く轆轤がけされている秀作である。

平成19年作

素材・技法／青銅・焼型鑄造

寸法／高さ27cm×幅26cm×奥行26cm

[表彰・受賞歴]

平成12年 高岡技能功労者表彰
平成14年 富山県技能職能功労者表彰
平成19年 日本伝統工芸展入選
平成24年 高岡市市民功労者表彰

[経歴]

昭和31年 北陸アルミニウム株式会社入社。
鑄造、加工、治具作り、火造を習得
昭和34年 家業の銅器轆轤加工業に従事
昭和62年 富山県職業能力開発促進センター轆轤切削法の講師（～平成12年）
平成 9年 群馬県埋蔵文化財調査センターの佐波理の銅鏡レプリカ轆轤仕上げ
法隆寺の仏具轆轤加工仕上げ
平成11年 福島県文化センターの銅鏡、銅鏡、水瓶レプリカ轆轤仕上げ
平成15年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定